# 6ペット対策

### 【目的】

拠点の円滑な運営のために、ペットの一時飼育場所を設定することで、他の避難者とのトラブルを防ぎ、円滑な拠点運営を行います。

## 【手順⑭】

各拠点での受付

## 【手順⑮】

ペットの一時飼育場所への誘導

#### 【手順個】

ペットの飼い主への指示

#### 【手順仍】

避難者への周知

#### 【手順(8)】

区災害対策本部への連絡

## 【手順9】

その他

# 【手順個】 各拠点での受付

♦Step I ♦

被災者がペットと同行避難してきた場合、飼い主やペットの情報を把握するため、受付時に「地域防災拠点ペット登録票」を飼い主に記入してもらいます。

◇Step2◇ 拠点のペット飼育ルールを説明します。

♦ Step 3 ♦

ペットに名札などを付けて、飼い主がわかるように します。なお、ペットに着ける名札などがない場合 は、ペットの一時飼育場所のケージや係留場所に、飼 い主名を記入した養生テープやガムテープを貼りつけ るようにしてください。



地域防災拠点ペット登録票

地域防災拠点ベット登録車					No	No			*	u
Mox							an .		*	0
神器をおむ人	#:·	* *		h:			W1 08 - 58 - 6			
		39			(#AS)					
		8 8					_			
	400	* 8			9.7	3.5	42	0		
		****	28-16				****	4:6		)
		1000	素件サステン 年度後、 _年_4_0 直接行びのテン接続者							
			张大宗子的强	7.50		R_0	224	C6+38	3.8	-14
	**** ****			シード.	29	400	. 19	* *		(3
			914	*64	0.0	9 P	- 13	<		-(1
				*	39	2.8	n	******		- (3
	# P		製造業・金生業を15~ご復長・<17億長)・各名募集・計算場合設定は持 との後( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							
	2	STAT	かった機能等							
	÷	6543								
			#1 1: #1 1 #1 1 #4 - 43 - 3#							
		91180					円田で発見		8 p	793
		6 <b>3</b> 00	財団連州・ケージ番号等 //							
	4		1000	at Issue						
,	5,00		# B./K-							
	All markets		10000	er (cares	2				1	
		****	961181		_		. RC	1 1.	e ni	
			10-14	7.4		+	- ALL			
		<b>6</b> 11-3			4 2 4			113		
			Second 14	We from .	-19 1-4					

# 【手順⑮】

# ペットの一時飼育場所への誘導

飼い主が同行ペットの飼育管理等を行うことを 説明したうえで、あらかじめ設定したペットー時 飼育場所へ誘導します。

## ◇Point I ◇

動物の種類や大きさごとに区分けする。(犬・猫・その他のエリアを決める)

## ◇Point 2 ◇

ケージにタオルなどをかけて目隠しをする。

## ♦Point 3 ♦

係留する場合・・・

- ・ペット同士が接触しないよう、なるべく距離をおく。
- ・必ずリードにつないで、可能であれば柵(仕切り)を設ける。
- リードは、隣のペットと接触しない長さにする。
- ・不妊去勢手術をしていない動物は、他の動物と 接触しないようにする。

# 【手順⑥】 ペットの飼い主への指示 P4

ペットの一時飼育場所などにおいて、苦情が発生した場合は、該当するペットの飼い主又は飼い主の会の 代表者に対して改善するように指示をしてください。

# ◇例◇

- ・ペットの一時飼育場所において、適切な飼育・衛生管理がされていない場合
  - (給餌・清掃・排泄物の処理など)
- ◆ 他の避難者からの指摘(臭い・鳴き声・抜け毛など)があった場合
- ◆ その他、拠点運営をするうえでペット同 行避難に関連した事柄(苦情)など



飼い主以外の避難者に、拠点でペットが飼育されていることを周知します。

また、ペットに起因する事故(咬みつき)などのトラブル防止のために、飼い主以外がペットの一時飼育場所に立ち入らないよう、注意を呼び掛けてください。

※ 避難者の受入時や掲示などで「ペットの 一時飼育場所」があることを伝えてくださ い。



# 【手順®】 区災害対策本部への連絡

**P6** 

#### ♦Step I ♦

ペットに関する物資が不足している場合は、飼い主の代表 者(代表者のいない場合は飼い主) と調整し、区災害対策 本部に必要な支援物資を要請してください。

#### 【支援物資の例】

ペットフード、ペットシーツ、ケージなど

※ 数日間で支援物資が届くと想定していますが、被災状況によっては長期間を要する可能性があります。

また、拠点に届いた支援物資は、拠点以外に避難されている方にも提供してください。

#### ♦Step 2 ♦

拠点に次のようなペットがいる場合は、「地域防災拠点ペット登録票」の保護したペット情報欄に記入の上、区災害対策本部に連絡してください。

- 飼い主のわからないペットがいる場合
- ・飼い主が被災したことによって、飼育困難となったペット がいる場合。

#### ◇例Ⅰ(受入れ対象の動物について)◇

原則として、犬・猫・小動物(小鳥・ウサギ・ハムスターなど)など、拠点で飼い主等が安全かつ責任を持って管理 することができ、拠点運営委員会が認める動物です。

それ以外の動物(大型の動物、危険な動物、専用の飼育設備が必要な動物など)は拠点での受入れは困難なため、次のような対応を行ってください。

◇拠点以外での飼育とする(自宅の敷地内などの安全な場所)

◇ペットが慣れている預け先や災害時に預かってもらえる親戚、知人、動物病院、民間団体の施設などに預ける。

#### ◇例2 (身体障害者補助犬の取り扱い) ◇

身体障害者補助犬はペットではありません。

被災者が補助犬を連れて避難してきた場合には、補助犬の 避難所への入室を拒んではならないことが身体障害者補助犬 法で定められています。

補助犬の同伴については、円滑に受け入れを行ってください。



この地域防災拠点でペット一時飼育場所が 分かる写真や地図を 貼ってください。